

図書館だより

2023.11

牛久栄進高校図書館

11月も間もなく終わりですね。風が冷たく、寒さが身に染みるようになってきました。本格的な冬の訪れを感じる今日この頃です。寒い季節だからこそ、暖房の効いた図書館で、読書や学習に励むのもいいものです。

◇図書委員からのおすすめ本

寒い冬に読みたい心温まる本

★高校生の青春

か「く」し
「ご」く「し」と
住野よる

『か「く」し「ご」く「し」と』

他人の感情が視覚的に見える、男女5人の高校生の話です。5人それぞれ特徴的なあだ名をもっているところがユーモラスで、文章が長くても次のページに手が伸びる秘密の1つだと思います。青春を過ごす同じ高校生として、この5人の能力があれば嬉しいなと思うことが読んでいて何度も頭をよぎりました。ファンタジー、恋愛、青春、すべてが詰まった一冊です!

★感動のラブストーリー

桜のような僕の恋人
宇山佳佑司

『桜のような僕の恋人』

冒頭でこの後のストーリーがどのような方向になるか、大方予想がついてしまうけれど、それでも最終章で涙を流さない人はいないと思うほど、感動と悲壮感が同時に襲ってきます。号泣の理由はそれだけではなく、この本のヒロインの感情は共感性が高く、女性ならではのつらさにも、涙がとまらなくなります。お互いがお互いを思い合う感動のラブストーリーです。

2年図書委員

★ファンタジー小説

鹿の王
上橋菜穂子

『鹿の王』

東乎瑠(ツオル)帝国にとらわれ、岩塩鉱で奴隷となったヴァン。ところが不思議な黒犬の群れに襲われ、謎の病気が流行してしまう。ひとり病気から生き残ったヴァンは逃げる途中、幼い少女をひろい、ユナと名づけて育てることに。

『鹿の王』の他、『守り人』シリーズもおすすめです。ぜひ読んでみてください。

★SF小説

銀河英雄伝説
田中芳樹

『銀河英雄伝説』

宇宙に進出した人類は皇帝と貴族が支配する「銀河帝国」と、民主主義を掲げる「自由惑星同盟」という二大陣営に分かれ、長期にわたる戦争を続けていた。銀河帝国で「常勝の天才」と呼ばれるラインハルト、自由惑星同盟で「不敗の魔術師」と呼ばれるヤンは軍を率いて何度も激突し、互いに勝利を収めるが…。

テーマは戦争ですが、魅力的なキャラクターが多いことも『銀英伝』の特徴です。読みだしたら止まらなくなると思います。ぜひ!

1年図書委員

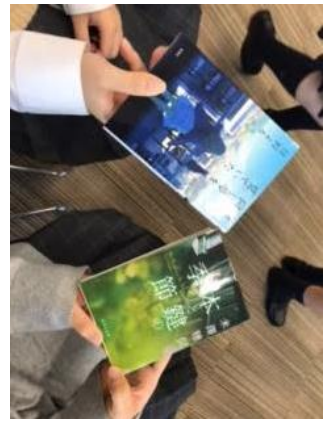
開く本によってさまざまな世界が広がります。魅力的な本の世界を旅してみよう!

◇県南地区生徒図書委員研修会に参加しました！

土浦市立図書館を会場にして、11月2日（木）に県南地区各高校の図書委員が集まって研修会が開かれました。本校からは、1年次の出村花奈さん、2年次の田淵紗椰さんの2名が参加してくれました。

【出村さんの感想】はじめに土浦市立図書館を見学させていただき、普段は入ることのできない自動管理の書庫やおはなし室を拝見させていただきました。蔵書の効率的な管理や、子供たちがより楽しめるような設計や照明の工夫など、貴重な時間を過ごすことができました。また、他校の図書委員の方との交流を通じて、読書の楽しさを共有することができ、好きなことを共有することの意義を学びました。私が参加した「2分間ぐるぐる読書」では、普段あまり読まないジャンルの本に出会うことで「本を読みたい」という強い思いが湧きました。特に私が最後まで読んでみたいと思ったのは、「墮落論」という本です。これは、第二次世界大戦直後の日本社会の倫理観を観察し、戦時中の経験を踏まえながら、これからの人々の生きる指針を示した坂口安吾の代表作です。作品の中では戦争について描かれているのですが、何度も「美しい」という言葉が用いられています。この言葉は、戦争について思い描く情景とは全く異なり、印象的でした。1つ1つの言葉遣いが丁寧で感情が込められており、「戦争に負けたり墮ちるのではない」という言葉が特に心に響きます。長いお話ではないので、お時間に余裕のある方はぜひ読んでみてください。

【田淵さんの感想】土浦の図書館に行くのは初めてだったのですが、明るく綺麗で蔵書も幅広いジャンルのものが揃えられていて驚きました。紹介された「僕は、そして僕たちはどう生きるか」という小説が命の重さについて考えさせられるような内容で興味が湧き、ぜひ最後まで読んでみたいと思いました。



◇新着本紹介

三井 綾子	音楽学部 中高生のための学部選びガイド
大岳 美帆	人間科学部 中高生のための学部選びガイド
Gakken	中高生のスポーツハローワーク
青柳 碧人	むかしむかしあるところに、死体があってもめでたしめでたし
真山 知幸	おしまい図鑑
朱喜哲	公正を乗りこなす
noritamami	超訳古今和歌集
益田 ミリ	47都道府県女ひとりで行ってみよう
まるみキッチン	やる気1%ごはん テキトーでも美味しくつくれる悶絶レシピ500
坂木 司	アンと幸福
加藤 紀子	海外の大学に進学した人たちはどう英語を学んだのか
池井戸 潤	シャイロックの子供たち
多崎 礼	レーエンデ国物語3
柴田 ケイコ	パンどろぼうとほっかほっか
一条 岬	今夜、世界からこの恋が消えても
佐藤 幸夫	人生を彩る教養が身につく旅する世界史
ファンボルク	ようこそ、ヒュナム洞書店へ
パイインターナショナル	世界の美しい美術館
黒柳 徹子	窓ぎわのトットちゃん
黒柳 徹子	窓ぎわのトットちゃん続
緑川 聖司	本の怪談シリーズ 図書館版12巻セット
逢坂 冬馬	歌われなかった海賊へ
関根 健一	無礼語辞典
はなまっぷ	にっぽんの花地図
ブライアン・トレーシー	カエルを食べてしまえ！
リン・ボディ	奇妙で不思議な菌類の世界
川崎 哲	僕の仕事は、世界を平和にすること。
キュレイターズ	フィンランドのライフスタイル
森勇磨	怖いけど面白い予防医学

岡澤先生にいただいた、図書館のクンシラン（君子蘭）がきれいなオレンジ色の花を咲かせました。調べてみると通常の開花時期は3～4月。図書館の中が暖かくて、春と勘違いしたのかもかもしれませんね。

